

各 位

上場会社名	ハビックス株式会社
代表者	代表取締役社長 酒井 正吾
(コード番号)	3895)
問合せ先責任者	取締役総務部長 窪田 博昭
(TEL)	058-296-3911)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月28日に公表した業績予想及び平成21年5月14日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,217	1,119	1,101	582	74.50
今回発表予想(B)	8,650	1,266	1,256	671	85.92
増減額(B-A)	△567	147	155	89	
増減率(%)	△6.2	13.1	14.1	15.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	9,217	668	663	261	32.89

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	1,054	1,073	591	75.65
今回発表予想(B)	8,110	1,214	1,242	686	87.93
増減額(B-A)	△390	160	169	95	
増減率(%)	△4.6	15.2	15.8	16.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	8,215	613	625	263	33.11

修正の理由

#### 1. 連結業績予想

売上高につきましては、紙関連事業の衛生用紙はほぼ計画通りに推移しましたが、不織布関連事業のパルプ不織布原反、同加工品部門およびその他の不織布において、景況感の悪化による外食産業の低迷、自動車産業の減産の影響等により計画を下回る見込みであり、通期の売上高は前回予想に対し567百万円減の8,650百万円となる見込みであります。利益面につきましては、生産効率の向上に努めたことおよび原燃料価格が低下したこと等により製造原価の低減を図ることができ、営業利益は1,266百万円(前回予想比147百万円増)、経常利益は1,256百万円(同155百万円増)、当期純利益は671百万円(同89百万円増)となることを見込まれますので、連結業績予想を修正するものであります。

#### 2. 個別業績予想

売上高につきましては、紙関連事業の衛生用紙はほぼ計画通りに推移しましたが、不織布関連事業のパルプ不織布原反および同加工品部門において、景況感の悪化による外食産業の低迷の影響等により計画を下回る見込みであり、通期の売上高は前回予想に対し390百万円減の8,110百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、連結業績予想と同様の理由により営業利益は1,214百万円(前回予想比160百万円増)、経常利益は1,242百万円(同169百万円増)、当期純利益は686百万円(同95百万円増)となることを見込まれますので、個別業績予想を修正するものであります。

### ● 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成21年5月14日発表)	—	0.00	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	—	—	13.00	13.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成21年3月期)実績	—	0.00	—	7.00	7.00

#### 修正の理由

当社は、上記の業績予想の修正において、過去最高の営業利益、経常利益、当期純利益を達成する見込みであります。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表し、期末配当予想を、前回予想の1株当たり10円(普通配当7円および当社第60期記念配当3円)に、特別配当3円を加え、1株当たり13円に修正いたします。

なお、本件につきましては、平成22年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、今後の経済情勢等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

以 上